

介護

VOL.22

2010.10.25

① 6/17 国際交流

韓国コヤン市の社会福祉政策担当者らが青山里会を視察

② 秋 第25回「小山田温泉祭り」のご案内

日時11/6(土)・7(日)雨天決行 11/5(金)前夜祭

③ 特集 今こそ社会福祉法人の使命を考える。

十分な食事を取ることができない(無支援状態)の方々への支援に取り組んでいく検討会始動

④ 祝 敬老ガーデンパーティーを開催しました。(9/3)

⑤ 小山田温泉夏まつり・盆踊り大会を開催しました。(8/5)

⑥ 海外視察(デンマーク・オランダの福祉)

⑦ コミュニティー広場

- 青山里会・主体会の合同研修会、第33回サマーセミナーを開催しました。(7/3)
- 名古屋大学大学院医学系研究科より青山里会を見学(4/12)

発行 社会福祉法人 **青山里会**
せいざんりかい
四日市市山田町5500-1
☎059-328-2177
http://www.normari.jp



6/17

大阪市立大学大学院と共同研究を進めている韓国のコヤン市の社会福祉政策を担当する21名の研修者が、青山里会の福祉事業について視察に来られ「地域とのネットワークの状況」について、地域福祉機関のネットワーク形成過程およびケアマネジメント構築のノウハウを見に来られました。

(歓迎レセプションで記念撮影)



青山里会は、年齢や障がいの有る、無しに関わりなく、すべての人が平等に、豊かに、安心して暮らすのがあたりまえで、普通のことであるという思想、ノーマリゼーションを理念として、福祉事業の充実に努めています。

第25回 めざそう! ノーマリゼーション

小山田温泉まつり

入場
無料

どなたでも
参加できます

とき 11月6日(土)・7日(日) 9:00~

11月5日(金) 前夜祭 17:30~

ところ 小山田温泉 地域交流ホーム周辺

「環境」考えよう

小山田温泉まつりは「エコ」に取り組んでいます。当日はおはしや容器をご持参してもらい、洗い場で汚れものも洗えるように準備しております。

雨天
決行

お問い合わせ

社会福祉法人

せいさんりかい
青山里会

四日市市山田町5500-1 URL <http://www.normari.jp>

小山田温泉まつり実行委員会
☎059-328-2177
FAX059-328-2905
✉matsuri@normari.jp

テーマ

今年の第25回のテーマは「みんなでつくれる楽しい毎日」です。人それぞれの楽しみや喜びは違います。みんなが楽しいと実感できるお祭りを作り上げていきたいと思っておりますので、地域の皆様とわたしたち、またご利用者たちが共に楽しみ喜びあえる祭りを築き上げていければと思います。

地域の皆様へ

大募集

私たちは、この小山田温泉まつりを地域の皆さんと一緒に作り上げていきたいと考えています。地域住民の皆様、こんな地域福祉活動の大イベントのまつりを作り上げていくためにも、ぜひ企画の段階からご協力頂けないでしょうか。他にもアイデアのご提案や出店希望、出演、当日の運営協力など、どんな些細なことでも結構です。ぜひ一緒に「温泉まつり」を共に作り上げ、楽しんでみませんか。お待ちしております。





在宅高齢者や障害のある方の 食の安心・安全を守る役割を 今こそ社会福祉法人の使命として考えていく。



写真:平成22年10月14日
サテライト川島の
コミュニティ食堂にて
デモンストレーションを
実施しました。



★今、私たちが暮らす街には、日々「食べる」ことに困っている在宅高齢者をはじめ、社会的に弱い立場にいる方にとっての食の問題が深刻化してきています。

そこで私たちは、これまでの地域福祉活動を通し、青山里会の在宅スタッフが目にしてきた高齢者やそのご家族の抱える食の問題点を以下のように整理してみました。

- ・全体的に栄養バランスが崩れた食事をしている。
- ・食べに行ける場所が近くにない。
- ・火の始末が心配で調理ができない。
- ・近くにお店がなく、食材の確保ができない。
- ・出来合いのお弁当ばかり食べている。
- ・経済的な問題で毎食、食事を取ることが難しい。
- ・認知症の影響で調理が不十分。
- ・治癒食や健康食にどう対処していいかわからない。
- ・訪問給食の供給も追いつかず、配食の限界も超えている。
- ・主食・副食メニューの選択できるものが少ない。

運営に関する理念

目的…… 食の孤立化防止 在宅高齢者や障害のある方、虚弱な方、貧困問題に直面している方など、満足な食事や栄養をとることが不十分な方々(無支援状態)への支援を目的とする。

プロセス…

- 栄養のバランスが取れた食事を摂取できる。
- 好きなものをチョイスできる。
- 安価で食事を取れる。

+

- 食材のパッケージ販売
- 生鮮食品の確保ができる
(アウトソーシングも含めて考慮)

ゴール……

- ・日本人の食生活にあった食事
- ・おいしいと感じられる食事
- ・安全、安心な食事



写真:平成22年10月15日サテライト常磐の
コミュニティ食堂にてデモンストレーションの風景。



こうした食の問題の発生には貧困や高齢者の社会からの孤立など様々な要因が深くかかわっています。そこで青山里会では安全・安心な食事を取ることが不十分な方(無支援状態)への支援をしていくために、法人内で食の孤立化防止をおこなっていくための新たなサービスメニューを開発していくことにしました。

その際、地域の実態を把握していくためにも地元自治会・民主委員会・地域住民の皆様のお力をどうしてもお借りしていく必要があり、誰もが納得できるサービスへと育んでいきたいと考えています。



敬老

ウェルカムドリンク



小山田特養の中庭で
9月3日17時より、毎年恒例となる
祝 敬老ガーデンパーティーを開催しました。
当日は職員による
小山田ビックバンドを構成して、
懐かしい歌謡ショーを披露しました。

職員がウエイトレスとなって、ご利用者のテーブルまで
料理を運ぶようにしました。
服装も目立つように派手なものにしてご利用者から
声を掛けてもらいやすいようにしました。

ご利用者ご家族の皆様～
ようこそお越し頂きました。



2日間に渡り開催しました
日頃ご家族となかなか一緒に過
この日はお孫さんの顔
職員が限られた時間内で
笑ってもらえたことが私た



ラスト・ナイト
ダンシングタイム

楽しい
♪



青山里会版の龍馬伝を披露。

楽し
暑～し
みんなで過
できま





恋の〜カラス〜

暑〜い



夏を
過ごすことが
した

今年は小山田以外のサテライト
職員が巡回し、理事長をはじめ、
様々なショーを披露しました。

〜パーティーには
すごのできないご利用者も
見られて喜ぶ姿や
練習したショーを見て
にとても喜びました。

〜カラス〜
〜ギター〜

常務理事もギターを弾き
思い出の曲を熱唱しました。



かんざき特養でのパーティーの風景

グループホームあおぞらの風景



カレバ〜10
飲み物はサイター



理事長もなつかしい曲を
得意なハーモニカを使って
心を込めて披露しました。
(とても熱唱していました)

〜カラス〜
〜ギター〜
〜カラス〜



行事





小山田温泉夏まつり

盆踊り大会



8月5日(木)に恒例の夏祭り(盆踊り大会)を開催しました。

当日は4,000人を越える地域の皆様やご来賓の方にお越しいただくことができ、大盛況で楽しいひとときを送ることができました。

順延になり、ご迷惑をおかけしましたが、

翌日は雨にも降られることなく開催できました。

理事長 川村陽一の
あいさつで開会



青山里会 ノーマリ連



四日市市長 田中俊行様
もお越し頂きました。



9/19
~26

オランダとデンマークの 福祉を施察

今回、全国社会福祉施設経営者協議会が主催する海外施察に行き、福祉国デンマークと、日本でいう介護保険を実施しているオランダの2ヶ国をまわり、福祉制度の在り方について学んでくることになりました。

※ 詳細の報告につきましては、次回の広報誌・介護VOL.23にて掲載させていただきます。

オランダ



(概要)

2006年現在、オランダの全人口は約1630万人であり、そのうち65歳以上人口の割合は14.3%を占めている。

オランダでは、65歳以上の高齢者の約9割は、公的年金と職域年金や企業年金などの私的年金を組みあわせて主な収入源として、地域で暮らしている。オランダはこれまで、EU諸国のなかでも65歳以前に労働市場を退出する早期退職者の比率が高いことが特徴であったが、近年の早期退職制度の見直しと就労促進策によって、周辺諸国に比べて急速に高齢労働者の就業率は40%となり、EUが示している目標値(2010年までに45%に引き上げる)に近づいている。

高齢者の在宅サービスの利用状況を見ると、55歳以上の約4世帯に1世帯が、自立した生活を送るために何らかの援助を受けており、75歳以上層ではその割合を約5割に上る。

オランダでは、「家庭医」(GP)と「在宅ケア協会」(Thuiszorg)が、専門的な在宅サービスの中心的な担い手であるが、最近では両者の機能や役割がじょじょに変化しつつある。

※概要の説明については全国社会福祉施設経営者協議会より提供を受けた資料を参照。

デンマーク



(概要)

デンマークは面積4万3000平方キロメートル、人口約547万人(2007年)の国である。

65歳以上の高齢者数は約84万人(高齢化率15.4%)、平均寿命77.96歳(男性75.64歳、女性80.41歳)、合計特殊出生率1.74である。高齢化率は1960年に10.6%、1970年に12.3%、1980年14.4%、1990年15.6%になり、その後減少傾向にあったが、最近、再度増加の傾向にある。なお、65歳以上の親と子供の同居率は日本の約50%として比較して非常に低く、6%程度である。

1974年に、福祉の分野では、世界的にも注目されている総合的な法律「生活支援法」が成立している(実施は1976年4月)。この法律は、それまでばらばらであった福祉関係法を一本化して、利用者主体にサービスを提供できるようにしたものである。福祉の対象を、障害者、精神障害者、知的障害者、高齢者、母子家庭などのグループに分けて、それぞれ別のサービスを提供するという従来の方法をやめて、理由にかかわらず、日常生活が困難となった国民すべてに、サービスを提供するという法律である。そして、サービスを提供する義務をコムーネ(市)に負わせている。



7/3[±] サマーセミナー

名古屋大学大学院医学系研究科医療行政
コースのフィールド・トリップ(留学生10名)
Welcome Lunch(4/12)



川村陽一理事長による基調報告を
受け第33回サマーセミナー開催



青山里会、主体会による合同の職員研修も
今年で33回を数えることになりました



青山里会・主体会の理念と方針について説明する理事長

今年のテーマは「在宅医療、福祉・介護の連携」を軌に仙台往診クリニック院長の川島孝一郎先生にご講演をして頂き、藤田保健衛生大学教授太田喜久夫先生からは脳卒中についてのリハ・ケアの介入・支援についてご講演頂きました。



四郷訪問看護
ステーションの管理者
土田敦子氏

指定討論会では、両法人より2名の職員を交え、社会福祉士の牧野祝子氏と看護師の土田敦子氏から現場報告(地域での困り事・課題)を受け、川島孝一郎先生にアドバイスを頂きながら討論会を行いました。



施設見学でも興味をもち、理事長から説明を受ける留学生の皆様